

**ＪＩＣＡ２０２１年度課題別研修「地域開発計画管理」コースの
オンライン研修による受け入れを行いました。
～プログラム全体の一体的構成と世界共通の課題に関する講義により、
理解の深化を促進～**

北海道開発局では、北海道開発の経験や知識を活かした国際協力活動として、平成４年度から地域開発に携わる開発途上国の行政官を対象とした研修員の受け入れを行っています。

この度、受け入れを行った独立行政法人国際協力機構（ＪＩＣＡ）２０２１年度課題別研修「地域開発計画管理」コースは、北海道総合開発の手法を参考に参加者が自国の地域開発の計画管理・運営等の技術を習得することを目的としています。

２０２１年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、残念ながら来日できず、オンライン研修による受け入れを行いましたので概要をお知らせします。

１．研修期間：２０２１年（令和３年）１１月１５日～１２月１４日

※ ホンジュラスの研修生のみスタディレポート発表及び修了式を１２月２７日に変更

２．研修内容：件名 ＪＩＣＡ２０２１年度課題別研修「地域開発計画管理」コース

：目的 北海道総合開発の手法を参考に参加者が自国の地域開発の計画管理・運営等の技術を習得すること

３．参加者：日本側 受託機関 一般財団法人日本国際協力センター（ＪＩＣＥ）

コースリーダー 東海大学国際文化学部長 平木 隆之 教授

：研修員側 ジョージア、北マケドニア、ホンジュラス、３カ国３名

４．研修概要

（１）講義の様子

当局は毎年、北海道総合開発の体制や当局の実施事業、道の駅やシーニックバイウェイ等の現地視察を組み合わせた研修プログラムを提案し、研修に協力してきましたが、２０２１年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、研修員が来日できなかったため、オンラインによる講義の実施となりました。

2. System of comprehensive development in Hokkaido region

HOKKAIDO COMPREHENSIVE DEVELOPMENT PLAN

Change in social conditions

Term	Planning period	Population	Economic Growth	Budget	Goal of The Plan
1st	1952-1962	Increase	Rapid	Increase	Industry (Mass Production Mass Export)
2nd	1963-1970				
3rd	1971-1980				
4th	1978-1987	Decrease	Stable	Restraint	QOL (Sustainable Economy)
5th	1988-1997				
6th	1998-2007				
7th	2008-2017				
8th	2016-2025				

12

今回の研修は、研修員が3カ国3名と少人数の研修だったので、活発な研修となるか懸念もありましたが、可能な限り研修員との質疑応答や議論に時間を使えるように構成を工夫したことで、少人数研修の利点を活かした理解の深化を図ることができました。

また、来日研修であれば、フィールドワークを通じた理解の深化が可能となるところ、遠隔研修では実施できないため、研修の内容についても工夫を行いました。現在世界中で共通の課題となっている新型コロナウイルス感染症を含め、広義の災害が地域社会や経済に及ぼす影響に対して備えるために、しっかりと基盤を整備することが、地域開発計画においても重要であることを講義に盛り込みました。更に、地域開発に関して、国が基幹的な基盤や制度を整備し、地方自治体、民間事業者等が適切な役割分担の下、それぞれの役割を果たすことにより、地域開発全体が一体的に推進されるという考えに基づき、プログラム全体の基軸を明確化したことで、研修員は非常に有益な研修であるという認識を示しました。

当局が行った北海道開発の講義について、研修員から、今後自国の地域開発を行う上で非常に参考になり、自国での適用について検討する旨の発言がありました。当局としては、今後とも研修員と連絡を取り合い、それぞれの国の地域開発に協力し、しっかりとフィードバックできるようサポートしてまいります。

上記の他、研修員は世界の広域エリアから参加していたため、来日研修と異なり時差の問題がありました。研修参加国の欧州エリアと中米エリアにおける最適な時間帯で研修を行うためには、それぞれ朝や夜の時間帯講義をセッティングしなくてはならないため、同一時間での研修が困難であったり、日程調整が困難な場面もありましたが、関係者間で協力し、研修員が無事に研修を修了できるよう対応しました。

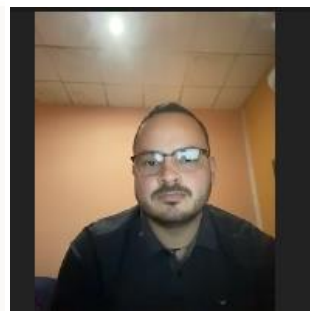
(2) 修了式

ジョージア及び北マケドニアの研修員は12月14日に、ホンジュラスの研修員は12月27日に無事修了式を迎え、研修員全員が修了証書を受け取ることができました。

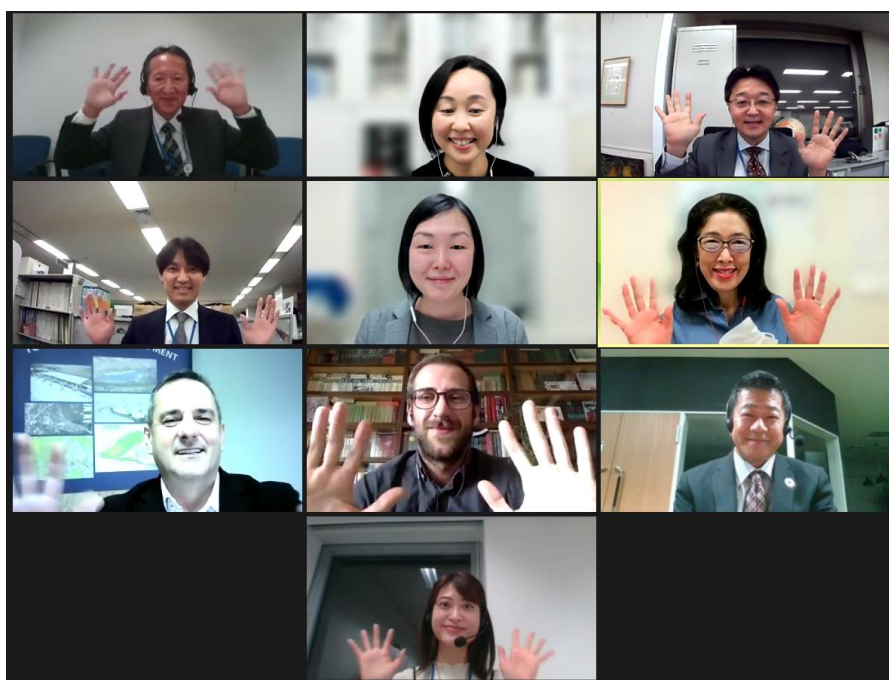
研修の中で、いつか日本に行って、実際に日本の文化に触れてみたいという発言もありました。新型コロナウイルス感染症が終息した際には、ぜひ今回の研修員が実際に日本を訪れる機会があることを切に願っています。私達もいつの日か皆さまにお会いできる日が来ることを楽しみにしております。



修了証書授与の様子（ジョージア、北マケドニア）



修了証書授与の様子（ホンジュラス）



最後に記念写真（ジョージア、北マケドニア）



最後に記念写真（ホンジュラス）